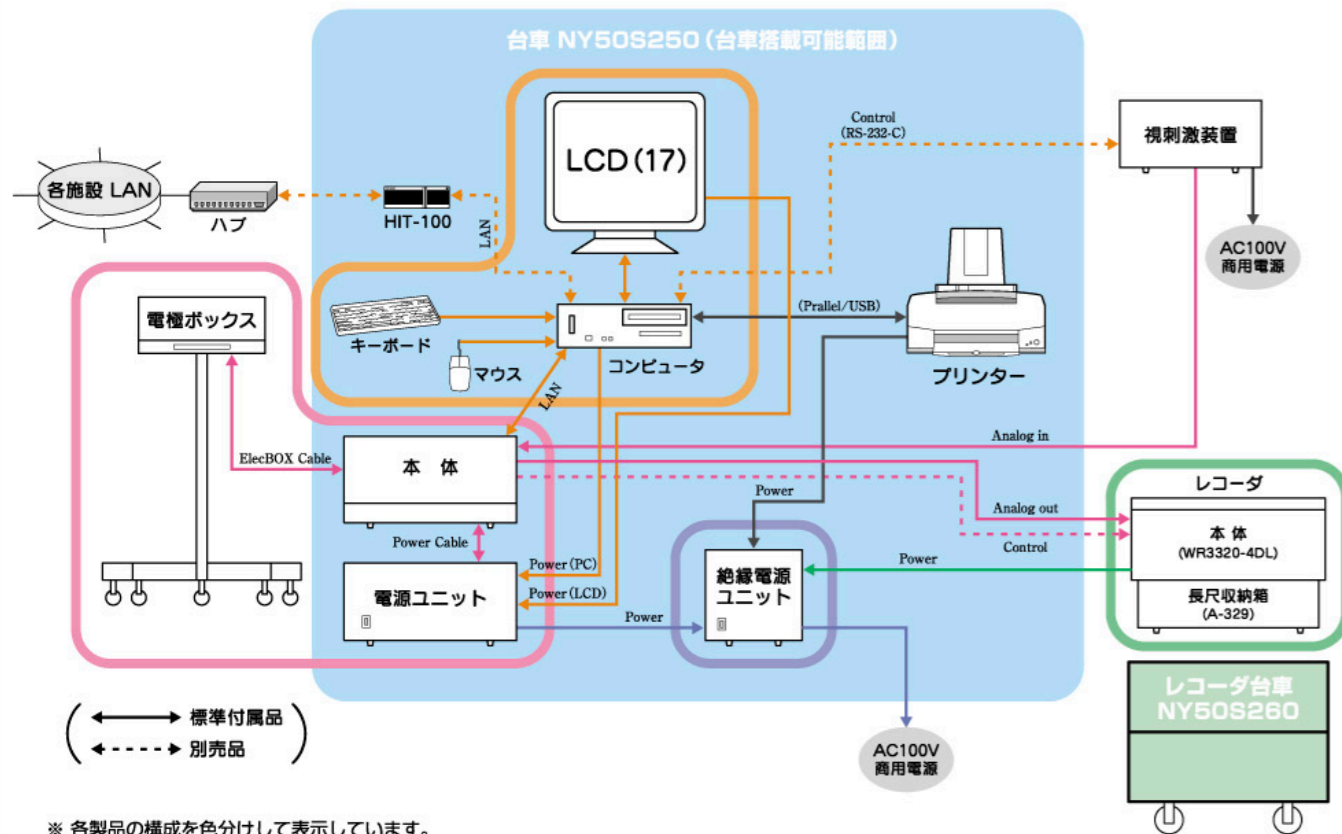


■ オプション組み合わせ例



※ 各製品の構成を色分けして表示しています。
 ※ 下表は、標準品/別売品の代表的な物です。別売品との組み合わせは、導入内容などにより異なります。

	● 眼振計 NY-50	● 眼振計解析システム NY-50S	● 絶縁電源ユニット NY50S248	● レコーダ WR3320-4DL
標準付属品	〈仕様〉参照	キーボード、マウス、LCD 各種接続ケーブル NY-50接続LANケーブル 電源コード	電源コード (プリンター、レコーダ供給用) 電源コード(NY-50供給用) 電源コード	記録紙(ロール紙) 電源コード
別売品	眼振計解析システム(NY-50S) レコーダ制御ケーブル(NY501120) 台車(NY50S250)	絶縁電源ユニット(NY50S248) プリンター(パラレルコード付) 視刺激装置(他社製) RS-232-Cケーブル(視刺激装置用) LANケーブル HIT-100		記録紙(折紙) 長尺収納箱(A-329) 長尺記録紙 レコーダ台車(NY50S260)

※ NY-50Sにプリンターを接続する際は、絶縁電源ユニットは必須となります。

● 電極ボックス

- スタート/ストップ、マーカ、電極抵抗の測定などを電極ボックスで操作が行えます。
- キャスターがついていますので、被検者のそばまで容易に移動できます。



● 本体パネル部分

- LEDの明るさ調整機能を備えていますので、暗室でもご使用いただけます。



眼振計 NY-50

■ 仕様

適用規格：JIS T0601-1:1999
 JIS T0601-1-1:1999

眼振記録部

チャンネル数：4チャンネル
 最大記録感度：電極入力による外部出力電圧
 200μV(方形波電圧)入力で、100mV以上(時定数：DC、3秒)
 2mV/sec(三角波電圧)入力で、100mV以上(時定数：0.03秒)
 周波数特性：DC~30Hz(±10%)
 最大雑音レベル：5μVp-p以下(電極入力換算)
 入力インピーダンス：5MΩ以上(電極入力：平衡)
 電極入力の弁別比：80dB以上
 時定数：DC、3秒、0.03秒
 り波器(フィルター)：OFF/5Hz/10Hz/20Hzローパスフィルター及び
 ハムフィルター

クリップ：OFF、+、-
 サンプリング周波数：200Hz

入出力部

外部出力端子：出力端子：4、DIN5ピンメス
 視刺激入力端子：入力端子：2、DIN5ピンメス
 レコーダ制御端子：スタート/ストップ、手動マーカを制御可能
 (グラフィック社製WR3320iに対応)

コンピュータ端子：別売のNY-50Sを接続可能

使用環境条件：温度+15~+35℃、相対湿度 30~80% 結露なきこと
 保管環境条件：温度-10~+50℃、相対湿度 10~90% 結露なきこと
 電源：AC100V±10% 50/60Hz 600VA以下
 電撃に対する保護の型式による分類：クラスⅠ機器
 電撃に対する保護の程度による装荷部の分類：BF形装荷部

大きさ・重さ

本体部：400(幅)×200(高さ)×300(奥行)mm
 (コネクタ等の突起部は除く)・約5kg
 電源ユニット部：400(幅)×200(高さ)×300(奥行)mm
 (コネクタ等の突起部は除く)・約1.7kg
 電極ボックス部：240(幅)×80(高さ)×170(奥行)mm
 (取っ手等の突起部は除く)・約5kg
 キャスター取り付け時のパネル面高さ：約830mm

付属品

電源コード	AA382220	1	外部出力ケーブル	NY501050	4
電源ユニット接続ケーブル	NY501000	1	視刺激入力ケーブル	NY501060	1
電極ボックス接続ケーブル	NY501010	1	電極ペースト	69S00080	1
電極コード(5種)	NY501040	2	ヒューズ 6.3A		2

別売品

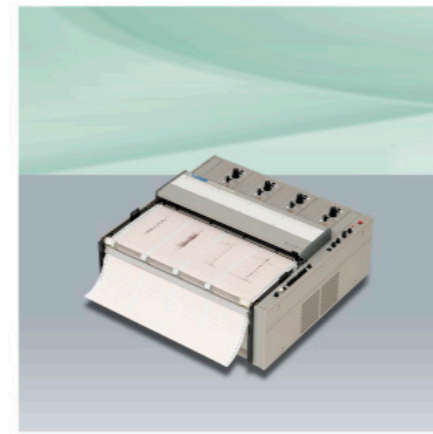
- 眼振計解析システム NY-50S
- 絶縁電源ユニット NY50S248
- NY-50用台車 NY50S250
- レコーダ WR3320-4DL(A312付)
[グラフィック社製]
- レコーダ制御ケーブルB NY501120
- レコーダ用台車 NY50S260
- 記録紙 (レコーダ用)
- プリンター
- DVD-RAMディスク



● NY-50用台車(NY50S250)



● レコーダ用台車(NY50S260)



● レコーダ(WR3320-4DL)〈A312付〉

※ 機器設置時にオプションとの組み合わせにより、各施設毎のシステムの設定が必要です。機器の導入時にご相談させていただきます。

※ Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ 本仕様は改良のためお断りなく変更することがあります。

(NY-50) 医療機器許可番号 13BZ0527



本社・営業部
 〒185-8533
 東京都国分寺市東元町3-20-41
 TEL:042-359-7880 FAX:042-359-7441
 仙台営業所
 〒982-0015
 仙台市太白区南大野田25-13
 TEL:022-249-5533 FAX:022-249-5535
 西日本営業所
 〒530-0047
 大阪市北区西天満6-8-7(電子会館ビル)
 TEL:06-6363-4133 FAX:06-6364-3673

関東リオン(株)
 〒330-0062
 さいたま市浦和区仲町3-11-2
 TEL:048-824-1205 FAX:048-824-8885
 東海リオン(株)
 〒460-0004
 名古屋市中区新栄町2-9(スカイオアシスビル)
 TEL:052-954-1733 FAX:052-954-1734
 九州リオン(株)
 〒812-0025
 福岡市博多区店屋町5-22(朝日生命福岡第2ビル)
 TEL:092-281-5361 FAX:092-291-2847

<http://www.rion.co.jp/>

● お問い合わせ・ご相談は



RION MEDICAL
 EQUIPMENT

眼振計 NY-50 (眼振計解析システム NY-50S)

平衡機能の検査を行う眼振計、別売の解析システムを接続することでデータ解析から報告書作成までを行えます。

- 別売品の眼振計解析システムを接続することにより、4チャンネルの波形と視刺激装置(別売)の同期信号等を同時に表示でき、デジタル保存や解析が行えます。
- 本体がとてもコンパクトになりましたので、検査室に合わせて機器の設置をすることができます。(写真には別売品が含まれています)



<http://www.rion.co.jp/>

Scientific pursuit of
 human ideals

データファイリング機能を搭載した5チャンネル (眼振4チャンネル+視刺激1チャンネル) 眼振計

(別売品の眼振計解析システム(NY-50S)を接続)



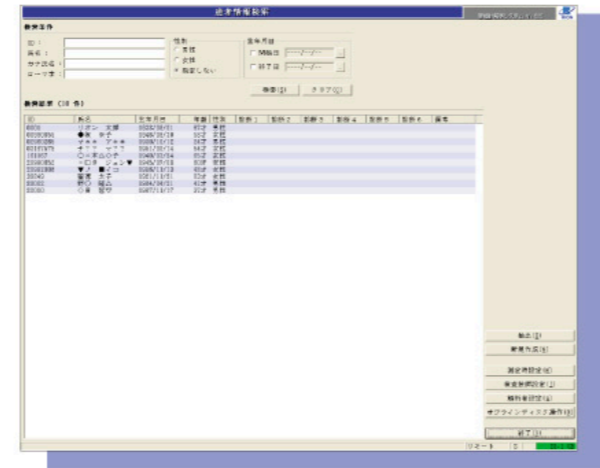
(写真には別売品が含まれています)

特長

- レコーダ(別売)を接続することにより、アナログ眼振計として動作します。
- 本体、電源ユニット、電極ボックスが分かれていますので、レイアウトが自由にできます。(オプションとして台車もご用意しています)
- 電極プラグに安全性を考慮したものを採用しました。

— 眼振計解析システム(NY-50S)接続時 —

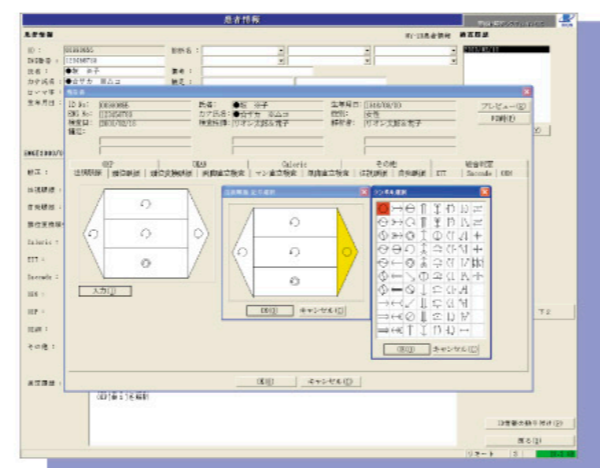
- 各種設定スイッチは、画面にも表示され、操作画面はWindows®ベースなので、操作性に優れています。
- DVD-RAMを標準装備しており、バックアップはDVDで行うため、高速で保存でき、データの保存、検索、解析が容易に行えます。
- 他社の視刺激装置(別売 *推奨品あり)を接続して、コントロールすることも可能です。
- 専用のデータコンバータソフトにより、NY-20の患者データ及び波形データをインポートも可能です。
※別途設置導入費用が必要となる場合があります。コンパート量などの条件により異なります。



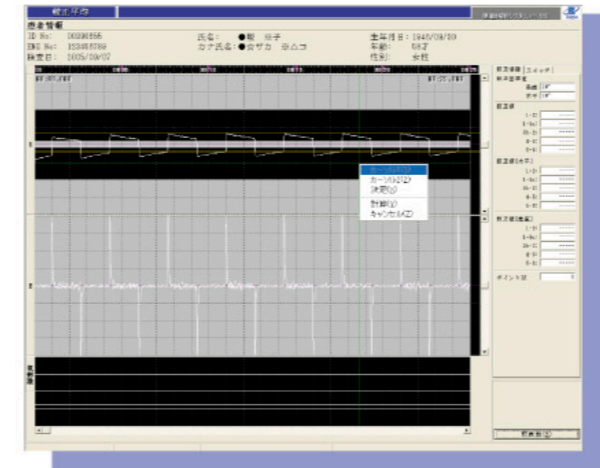
●患者情報検索画面
データベースエンジンを搭載しており、患者情報やENGデータなどがID番号で管理されています。検索・抽出はID、カナ氏名、生年月日などで行えます。



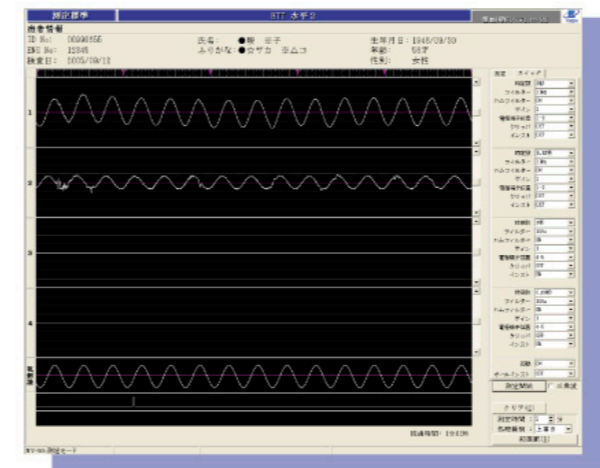
●ENG画面
ENGデータは、ID番号と検査日で管理されています。検査項目別に測定ボックスが分かれています。データが取り込まれたボックスは色別に表示され、使用状況が一目でわかります。



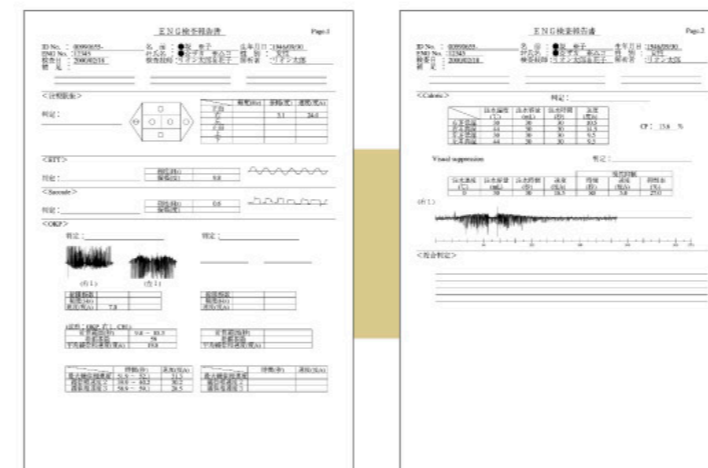
●報告書記入画面
解析画面で記入されたデータや波形の確認ができます。記号や総合判定の記入などもできます。



●較正平均画面
振幅測定箇所を複数選んで平均することができます。較正平均は原波形で行い、振幅と速度の較正値がられます。



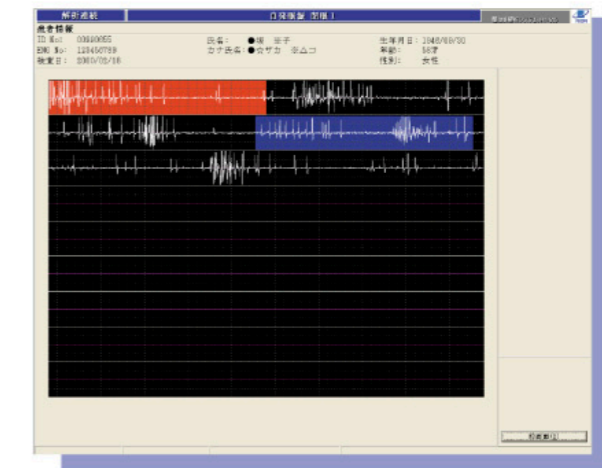
●ENG測定画面
4chの測定波形の他に視刺激波形の記録ができます。シグナルマーカーの他にキーボードより文字マーカーの入力ができ、暗算負荷検査の時などに便利です。



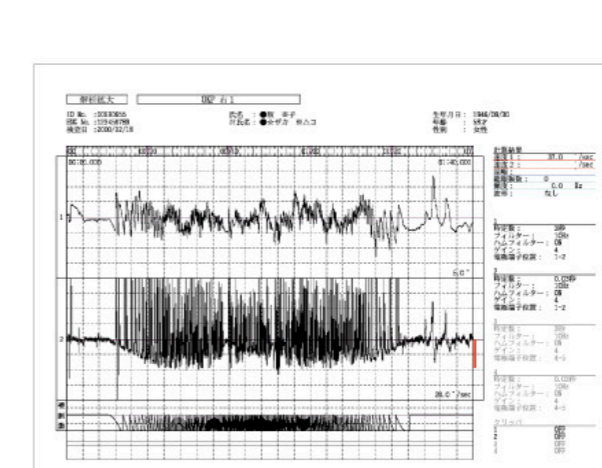
▲報告書プリントアウト例
各項目から選択して報告書を作成することができます。



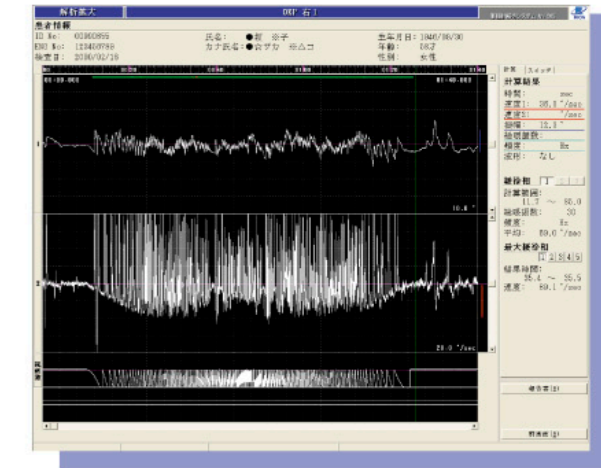
●解析標準画面
測定されたデータは種々の解析を行うことができます。解析標準画面では波形表示のチャンネルを入れ替えたり、他のデータとの比較表示を行うことができます。



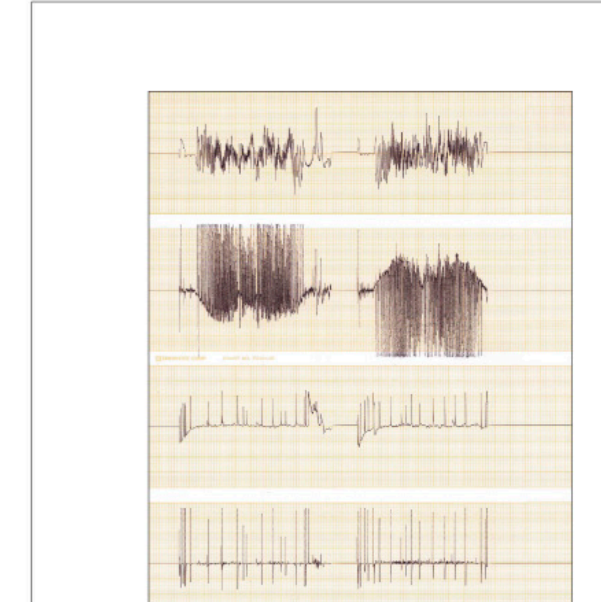
●解析連続画面
測定されたデータを1画面上に連続して表示できます。全体の中から必要なデータ部分を選び出すことができます。



▲プリントアウト例(プリンターは別売品)
画面で表示されたデータをプリントアウトできます。



●解析拡大画面
原波形より角度(振幅)、眼振速度、速度波形より眼振速度、総眼振数、頻度の計測を行うことができます。計測した場所は、解析データとして色分けして保存されます。



▲4chレコーダ記録例(レコーダは別売品)
レコーダへの記録は検査と同時に記録だけでなく、収録したデータからの記録も可能です。

